

## 平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

自らの個性・能力を磨き、激動する社会の変化に対応できる活力あふれる人材を育成する学校

- 1 基礎学力の充実を図り、主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜びや探究心を育む学校
- 2 人権意識、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を育てる学校
- 3 教育活動の充実した地域から信頼される学校

## 2 中期的目標

1 基礎学力の充実を図り、進路実現を果たす学校

(1) 「わかる授業」を実践し、「21 世紀型学力」を育成する

- ア アクティブ・ラーニングを推進し、生徒が主体的に学ぶ授業の充実を図る。
- イ 研修等、様々な学びの機会の充実を図り、学習への意欲を高める。
- ウ 次期学習指導要領を見据えたカリキュラム編成を行い、進路実現を支援する。

(2) 学ぶ喜び、探究心の育成を図る

- ア 大学見学、先輩や外部講師に学ぶ機会を活用し、キャリア教育の充実を図る。
- イ 自ら課題解決に向かう姿勢を育成する。
- ウ 自学自習する姿勢を育み、主体的な学習者を育てる。

(3) 学校として進路指導體制を確立し、充実した進路指導をめざす

(4) 英語 4 技能の充実により、英語力を向上させ、知識に裏打ちされた「使える英語」の獲得をめざす

- ア 英語暗唱大会、スピーチコンテスト等による speaking 力の育成

※ 授業アンケートの授業の肯定的評価 80%以上

※ 国公立大学、有名私立大学(関関同立)の現役進学率 40%以上

※ 学校教育自己診断「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」の肯定的評価 80%以上

※ 学校教育自己診断「学習時間を確保するよう努力している」70%以上

2 豊かな人間性の育成

(1) 人権感覚を育成し、他者理解のできる真のリーダーとしての資質を育む

(2) 国際交流を推進し、国際感覚を備えた人材の育成を図る

(3) 集団の中の個人として自覚を持って行動できる姿勢を育てる。

※ 学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」80%以上

※ 国際交流、社会貢献等への満足度 80%以上

※ 遅刻数 3 年後目標 3000 件以下

3 地域から信頼される学校づくり

(1) 部活動、生徒会活動、学校行事等、生徒の主体的な取り組みを充実させる

(2) 地域連携の推進、社会貢献活動によりコミュニティーの一員としての意識を醸成する

(3) 広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する

(4) 学校組織(教員体制、運営方法等)の見直しを行い、教育活動の充実を図る。

※部活動加入率 90%の維持 生徒会活動、学校行事への満足度 90%以上

※地域連携活動、社会貢献活動の充実、満足度 80%以上

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>○評価の高い項目(肯定的評価 90%以上)</p> <p>学校へ行くのが楽しい 遠足や修学旅行に楽しく参加している 活発に部活動にとり組んでいる 体育祭や文化祭に楽しく取り組んでいる 個人情報保護に努めている 友達に恵まれている</p> <p>○評価が高まった項目(2年間で+10%増)</p> <p>個人情報保護に努めている 悩みや相談に応じてくれる先生がいる 学校の雰囲気はよく生き生きしている</p> <p>○評価の低い項目(肯定的評価 60%以下)</p> <p>ユニークな特色や取り組みがある 施設・設備は整えられている</p> <p>○分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価が 80%以上の項目数は3年間で 5⇒10⇒13(全 33 項目)と推移している。</li> <li>・本校の特色である「総合」については「いろいろな話を聞けたためになった(81.4%)」「進路を考えるうえで参考になった(73.6%)」であった。総合に係る評価はどの項目も前年度より+評価であった。</li> <li>・引き続き生徒の家庭学習の指導、教育相談体制の充実、施設設備の充実については学校課題として取り組みを進める必要がある。</li> </ul>	<p>(第1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(授業改善について)小中学校、市町村では研究授業等さまざまな取り組みがある。指導教諭、指導主事、外部講師を招いて協議することもよく行われている。</li> <li>・学習は入試で終わりではなく「大学卒業後も見据えた広い視野」を持つことが大切</li> <li>・アクティブラーニングによる(教育)活動は社会であたり前のこととして取り組まれてきた。学校教育に乖離があったことが現在求められるようになった。</li> <li>・「どれだけ人に会ったか、基礎力とともに様々なところに応用できるか」が大切。</li> </ul> <p>(第2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(協議会前の授業見学の説明)授業見学週間(教員同士)は本年度初めて実施。</li> <li>・遅刻の激減について状況と取り組みについて</li> </ul> <p>「遅刻防止週間の実施」「生徒指導部から生徒への働きかけ」「学級担任からの声掛け」指導(声掛け):ベテランの知恵「叱るのではなく理由を聞く指導」を若手へ伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北千里生の課題「挨拶はしっかりできるが、発信力が少ない」</li> </ul> <p>(第3回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動など正解のない問題の取り組みとともに乗り切れない子をいかに乗らせるか。</li> <li>・遅刻指導について先生方が互いに声をかけあって立ち番などに取り組み成果をあげた。同僚性の中で取り組みが波及的に広がると生徒にも波及が著しい。</li> <li>・自分の意見が言えるかどうか、北千里生はよくできるが自分から出ていくことが少ない。地域との連携の中で学ぶことが大切である。無理のない持続できるよう工夫が必要。</li> <li>・北千里生は(昔から)真面目。加えて発信力、先にふみ出すパンチ力を育ててほしい。</li> </ul>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実	<p>(1) 「わかる授業」を実践し、「21世紀型学力」を育成する</p> <p>(2) 学ぶ喜び、探究心の育成を図る</p> <p>(3) 学校として進路指導体制を確立し、充実した進路指導をめざす</p> <p>(4) 英語4技能の充実</p>	<p>(1) 「わかる授業」の実践「21世紀型学力」の育成</p> <p>ア アクティブ・ラーニングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相互授業見学習習慣の設定により、授業の研鑽を行い、授業改善につなげる</li> </ul> <p>イ 授業充実のための研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業見学週間を導入し、相互研修を進める</li> </ul> <p>ウ 次期学習指導要領を見据えたカリキュラムの編成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P Tにより、情報を収集し、検討に入る。</li> </ul> <p>(2) 学ぶ喜び、探究心の育成</p> <p>① 大学見学の実施、外部人材を活用した研修の実施</p> <p>② 総合的な学習の時間における探究活動の検討</p> <p>(3) 北千里の教育内容の全体図を作成し、指導の見える化を図る</p> <p>(4) 英語4技能の充実</p> <p>① 英語暗唱大会、スピーチコンテストを実施し、speaking力の充実を図る</p> <p>② 外部検定の活用を推進し客観的指標を作る、</p>	<p>(1) 7学校教育自己診断の肯定評価「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」75%以上 (H29: 71%)</p> <p>イ 授業見学週間の実施、授業研修の実施 (各1回)</p> <p>ウ 会議の定期開催 (8回)</p> <p>(2) ① 大学見学 (1年次: 1回) 進路講演会の実施 (各学年1回)</p> <p>② 検討会議の開催 (6回)</p> <p>(3) 学校教育全体図の作成</p> <p>(4) ① 暗唱大会、スピーチコンテストの実施、生徒アンケート結果 肯定的評価維持 肯定的評価の維持</p> <p>② 外部検定の実施 (1, 2年各1回)</p>	<p>(1) ア・自己診断の肯定評価「授業はわかりやすい」68.2% (△) 「教え方を工夫している」67.2% (△)</p> <p>イ・授業見学週間の実施2回 (○)</p> <p>パッケージ支援研修実施5回 (◎)</p> <p>ウ・P T定期会議8回 (○)</p> <p>(2) ① 大学見学 (1年次: 1回) (○) 進路講演会 1年1回・2年1回・3年1回 (○)</p> <p>② 探究チーム会議7回 (◎)</p> <p>(3) 学校教育全体図の作成 進路計画・探究計画・授業改善・職員役割分担図等を作成 (○)</p> <p>(4) ① 暗唱大会実施 総合アンケート83% (○) スピーチコンテストの実施 総合アンケート88% (○)</p> <p>② GTEC 模擬検定実施 1, 2年各1回 (○)</p>
2 豊かな人間性の育成	<p>(1) 人権感覚を育成</p> <p>(2) 国際交流を推進</p> <p>(3) 集団の中の個人としての自覚ある行動の育成</p>	<p>(1) 人権感覚を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体の研修、学年ごとのテーマ別研修を実施し、違いを認め合う意識を醸成する</li> <li>SNSに関する研修を全学年で行い、正しい情報発信力について理解させる</li> </ul> <p>(2) 国際交流を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イギリス語学研修、台湾姉妹校交流を継続し、外国への関心、自国への意識、語学学習への意欲を高める</li> </ul> <p>(3) 集団の中の個人としての自覚ある行動の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻防止週間の実施により、遅刻をしない姿勢を育む</li> <li>校内清掃を充実させ、自分たちで快適な環境を維持しようとする姿勢を育てる</li> </ul>	<p>(1) 研修の実施、学校教育自己診断肯定評価85%以上 (H29: 81%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS研修の実施 (1回)</li> </ul> <p>(2) 国際交流の実施、アンケートによる生徒満足度90%以上 (H29: 100%)</p> <p>(3) 遅刻数 昨年度の10%減 (H29: 3592件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育自己診断「校舎内の清掃は自分たちできれいにできている」65% (H29: 57%)</li> </ul>	<p>(1) ・人権HR 各学年2回 (○) 職員人権研修 2回 (○) 自己診断肯定評価 (84.2%) (○) 研修の評価が上昇し、ほぼ目標を達成できた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNS研修の実施 (1回) (○)</li> </ul> <p>(2) 国際交流の実施 英国語学研修アンケート100% (◎) 台湾姉妹校交流アンケート100% (◎)</p> <p>(3) 遅刻数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻防止週間5回・登校指導実施 前年比26%減2665件 (◎)</li> <li>美化週間を2回実施。校内美化の取組みを推進し、目標を達成できた。自己診断当該項目66.7% (◎)</li> </ul>
3 地域から信頼される学校づくり	<p>(1) 部活動、生徒会活動、学校行事に主体的に取り組む姿勢</p> <p>(2) 地域連携の推進、社会貢献活動により、コミュニティーの一員として自覚を高める</p> <p>(3) 広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する</p> <p>(4) 学校組織の見直しを行い教育活動の充実を図る。</p>	<p>(1) 部活動の加入をすすめ、学校への所属意識を高める。生徒会活動の自治をすすめ、自身で物事を解決する力、達成感を育てる</p> <p>(2) 地域連携の推進、社会貢献活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竹あかり、クリーン作戦、商店会秋祭りへの参加</li> </ul> <p>(3) 広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する</p> <p>① 学校説明会の時期や内容の見直しを行い、内容の充実を図る</p> <p>② Webページの更新をこまめに行い、学校情報を積極的に発信する</p> <p>(4)</p> <p>① ノークラブデーの確実な実施により、生徒・教員共にメリハリのある時間活用を進める。</p> <p>② 会議のありかたを見直し、生徒に向き合える時間を増やす。</p>	<p>(1) 部活動加入率90%の維持</p> <p>(2) 地域行事への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数と満足度 満足度80%以上 (H29: 89%)</li> </ul> <p>(3)</p> <p>① 学校見学会参加者の満足度70%以上</p> <p>② 学校教育自己診断の保護者満足度の維持 (H29: 75.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブログ等の更新回数増</li> </ul> <p>(4)</p> <p>① ノークラブデーの実施</p> <p>② 資料の電子化の推進</p>	<p>(1) ・部活加入率の維持 90.6% (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己診断肯定的評価 部活動91.6%、学校行事92.6% (◎)</li> </ul> <p>(2) 地域行事への参加満足度89.3% (○) (参加行事人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立循環器病センター職員による救急講習会26人 (○)</li> <li>ドナルド・マクドナルドハウス ボランティア体験7人 (○) オープンハウス参加9部 (◎)</li> <li>クリーン作戦実施 26部+生徒会生徒約600名 (◎)</li> <li>千里竹あかり 台風被害により中止</li> <li>商店会秋祭り (DIOSの秋まつり) 吹奏楽部・ダンス部参加 (◎)</li> </ul> <p>(3) ① 学校見学会参加者アンケート 満足度99.0% (◎)</p> <p>② 自己診断「情報を伝えてくれる」80.8% (◎) メールマガジン週1回発行 (○)</p> <p>(4) ① ノークラブデーの実施 (○)</p> <p>② 施設予約システムの活用 (○)</p>